



## 劇団青年団移住者第1号 劇団に先立ち豊岡に!

劇団青年団 俳優 **福田倫子**さん(41歳)日高町浅倉



平田オリザさん率いる劇団青年団の豊岡移転に伴う、劇団員移住の1人目となったのが福田倫子さんです。  
福田さんが演劇に興味を持ったきっかけは、劇作家・宮沢章夫さんのエッセイを読んだことでした。その後、東京で国家公務員として働きながら演劇学校に通い、演劇の虜(まぼろし)に。学校に通う中で平田さんの入団オーディションに合格し、今に至ります。  
「子育ては田舎で」という思いがあった福田さん。移転の

話を聞く中で、田舎でありながら文化と芸術が身近にある豊岡に惹かれたといいます。昨年5月の来豊時に夫の転職先が決まったことで移住の話が進み、8月下旬に実現。豊岡の雨や霧が多い気候さえも、自然の循環を目で感じられると、お気に入りです。  
近年は家庭とバランスを取りながらの活動ですが、2月3月に東京と愛知で公演される「平田オリザ演劇展」隣にいても一人への出演に向けて、稽古に力が入る日々を過ごしています。

# Toyooka Topics —とよおかの“旬”な人と話題—



▲境内で放水訓練

## 「文化財防火デー」防火訓練 貴重な文化財を火災から守る

文化財防火デー(1月26日)に合わせ27日、出石町宮内の総持寺で、消防団や消防本部、地域住民ら約50人が参加し、防火訓練を行いました。

文化財防火デーは、昭和24年1月26日に法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことを受け制定されました。訓練は、観音堂のストーブから出火し延焼したという想定で行われ、住職が消火器で初期消火後119番通報し、住民らも消火に加わるとともに、文化財に見立てた箱の搬出を行いました。その後、消防団と消防本部が観音堂などに向け一斉放水。住職の大山智忍さんは「総持寺が火災に遭わないように無事勤め、また皆様のご支援もいただきたい」と話しました。

## じゃんぼ巻きずし大会 今年は全長26.55mを記録!

1月27日、中竹野ふるさと館で、第12回じゃんぼ巻きずし大会(主催・中竹野地区コミュニティ)が開催され、約130人の参加者がじゃんぼ巻きずし作りに挑戦しました。

参加者は、長机の上に海苔を敷き、その上に酢飯や卵焼き、にんじんなどの具材を並べ「せーの!」の掛け声に「よいしょ!」と息を合わせて巻いていきました。完成後の計測では、全長26.55mを記録。手作りこんにやく入りの豚汁と共に、切り分けた巻きずしをその場で食べ、交流を深めました。

石井文温君(中竹野小3年)は「おいしい!」と長さ約20cmの巻きずしを丸かぶりしていました。



▲昨年の記録を1.5m以上更新した巻きずし